

# トピックス

## 野の花を愛でる

Vol.7 「スイカズラ」



こんにちは！私の名前はスイカズラと言います。初夏の夕方、白や黄色の手袋のような花が咲いて匂っている蔓植物がいたらそれは私ですよ。テニスコートにあるようなフェンスや茂みによじ登るのが私の得意技です。森の中や河原の草地など、よく見ると葉っぱ姿の私がいるかもしれません。

私たち蔓植物は、光を求めて上へ上へと登るように造られました。他の植物の力をお借りしますが、太陽の光が当たる所で葉っぱを広げ、たくさんの光を受けて過ごすのが大好きなんです。私は普段、自然界では環境変化の多い場所に住んでいます。だから、今日私がよじ登っている場所は枯れたり倒れたりして翌日はないこともよくあります。少しずつ季節が進むと、今日の自分はできいても、明日の自分ができなくなることを考えて不安になります。よじ登る場所が倒れると、長い間また地面を這って、登れる場所探しからスタートなんです。進んだ先にもよじ登る場所があるのかわかりません。

人間の皆さんもそんな気持ちになったことはありませんか？私もそんな繰り返しの中で生きています。でもイエス様のみことばのように、重荷を降ろ

して委ねると不思議と気持ちが楽になるのです。それで、自分に与えられた他の性質、這って広がることに専念できるようになりました。神様は、できなくなったことを責めるのではなく「そのことはわたしに任せて、今はもうしなくて良いよ」と優しく声をかけて下さる方です。そうして過ごしていると、今も、これまでも、生かされてきたんだなぁと感じます。

ですから、人間の皆さんにこの聖書のことばを贈ります。

すべて疲れた人、重荷を負っている人はわたしのもとに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。わたしは心が柔和でへりくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすれば、たましいに安らぎを得ます。

マタイの福音書 11:28-30

スイカズラ：常緑性のつる植物、花期5～6月

(文・北原満里恵 画・三木泰子)

## マタイの福音書を読む

Vol.3

伝道師  
小林佳雄



今回は、マタイの福音書7章13-14節「狭い門から入りなさい」についてです。

「狭い門」と聞くと、入試や就職、抽選会などのときに、応募者が殺到する中、苦労や困難を乗り越えていく様子が思い浮かぶかもしれません。一方、聖書に出てくる「狭い門」とか「細い道」は、イエス様が教えられた信仰の歩みです。私たちは自らの人生の歩む道を狭いと細いとかが思い込んでしまい、神様のもとに来ようともしません。人間の罪深さと強欲が、私たちの心を神様から離れさせようとするからです。もちろん、神様が狭くしておられるのではありません。神の御子イエス様は私たち一人ひとりに目を留め、寄り添い続けられておられます。

「狭い門から入りなさい。滅びに至る門は大きく、その道は広く、そこから入って行く者が多いのです。い

のちに至る門はなんと狭く、その道もなんと細いことでしょう。そして、それを見出す者はわずかです。」

(マタイの福音書7章13,14節)

信仰の歩みとは、神の御子イエス様を「わが救い主」として信じ、受け入れていくことですが、自分一人でそうしなさいというわけではありません。苦難や困難を伴いながらも、神様の御愛に励まされながら、神様とともに生きる道です。愛に満ちあふれた救い主イエス様こそが、「永遠のいのち」に通じていくまことの門であり、歩むべき道です。

今回3回シリーズでマタイの福音書を見てきましたが、聖書を開いて、神様の語りかけに耳を傾けてください。神様からの最高の贈り物を手にすることでしょう。

神様の祝福がみなさんの上にありますように。

# Blessing Shower

「祈りはきかれる」

佐々木 寿代



私は人前で祈る時とても緊張します。自分の言いたい事をまとめて言葉にするのが苦手だからです。このような私ですが今までに何度も祈りに救われて来ました。

特に救われた最近の出来事は母の事です。数年前に母が体調を崩しました。助けやアドバイスをくれる親戚もなく、家族は私だけだからと必死に何とかしようとしてました。神様に委ねる事など考えもせず、自分の思いを通す事ばかり願ひ、叶わなければ嘆く祈りしかしていませんでした。結果、

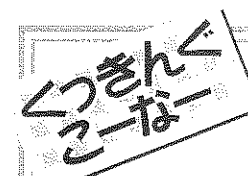
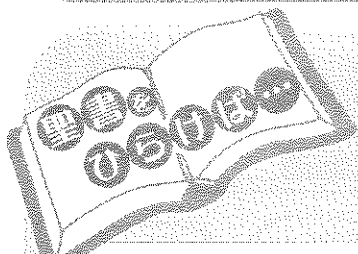
自分の判断だけではどうすることもできない事が次から次へと起こりました。1人になると勝手に涙が出、夜もなかなか寝付けなくなり、「疲れたな。もう嫌だ。」と思うようになって、ようやく神様に心から声を絞りだして「助けて」と救いを求めたように思います。すると本当に不思議でしたが、今まで上手く進まなかったことが進み、母も穏やかになり、また私も母もいろいろな方達から励まされ今にいたります。

祈りには、一緒に祈ってもらう祈り、心を静めて神様と話す祈り、日常生活の隙間にする祈りなどあると思います。祈りはすぐにきかれるものもあれば、思っていたものと違うかたちできかれたり、励ましによる救いもあると思います。

そしてこれまでの経験から、願ひが叶わないことはあっても祈りは必ずきかれると確信しています。必ず神様は私たちの言葉にもならない祈りでさえもきいてくださりこたえを用意してくださっています。神様ありがとうございます。

「何事でも神のみこころにしたがって願うなら、神は聞いてくださるということ、これこそ神に対して私たちが抱いている確信です。」

ヨハネの手紙第一5章14節



## 「小海老とささみの簡単フリッター」

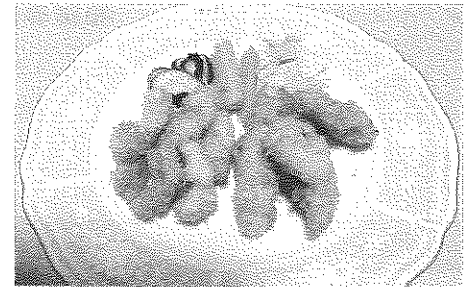
### ◆材料◆

(3~4人分)

むきエビ(小)	50グラム
ささみ	150グラム
塩コショウ	少々
酒	適量
長ネギ(みじん切り)	大さじ1
おろしショウガ	適量
卵の白身	1個分
片栗粉	大さじ2
パン粉	適量

### ◆作り方◆

- ① エビは塩コショウ、酒で下味をつける。
- ② ささみは一口サイズに切り、塩コショウ、酒、長ネギ、おろしショウガで下味をつける。
- ③ ①、②を別々に30分くらい冷蔵庫に置く。
- ④ 卵白を角が立つまで泡立てて、そこに片栗粉を加えて混ぜる。
- ⑤ ①、②を④につけて、パン粉をまぶし、低温のサラダ油で衣が薄いきつね色になるように揚げる。



## 希望のダイヤル

毎週メッセージが変わります

0798-20-9666

パソコン、スマホからYouTubeでも視聴できます。一麦西宮教会で検索してください

by YY.